

「せんたんプロジェクト」で地域に活力を-愛媛県立三崎高等学校-

農林水産省及び内閣官房は、農山漁村活性化の優良事例である「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」第8回選定としてグランプリ及び優秀賞を選定し、さらに、今回から新たに有識者懇談会委員の専門分野に関する優れた取組について、特別賞を選定しました。その特別賞に愛媛県から「四国最西端から最先端」の活動を発信している愛媛県立三崎高等学校の取組が表彰されました。

三崎高校は、伊方町で唯一の高校であり、その伊方町においては、進学や就職を機に都市部へ転出する生徒が多く、地域の担い手不足が深刻化しています。

そこで、地域を担う存在である高校生が、行政や関係団体、地域の方とともに活動する中で地域の良さを再発見し、地域に誇りを持った社会人となりブーメラン人材として地域に帰ってくるという、中長期的な地域の活性化に取り組むことを目指して、7年前から地域と高校が協働して地域おこしを行う「せんたんプロジェクト」を実施しています。このプロジェクトでは全校生徒をPR、カフェ、商品開発、ツアー、アート、防災の6グループに分け活動を行っています。



首相官邸での記念撮影
(三崎高校提供)



カフェチームの生徒代表(左)

そのプロジェクトの一つ、カフェプロジェクトでは、町の魅力である海や風景の美しさを多くの人に知ってほしい、地域の方々から心休まるような場所を作りたいとの思いから「みさこうCafé」を誕生させ、地元の海から採った塩を利用したメニューを町内外のお客様に提供しています。

また、「第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」アマチュアの部においては、学校の中庭にある「だいだい」を活用したマーマレードで金賞(ベストカテゴリー賞)を獲得し、高校生部門で「世界一」に輝きました。

この他、アートプロジェクトにおいては、コンクリートの防波堤壁面をアート化し大きな壁に息を吹き込んで、地域に元気を与える取組などを行っています。さらに、その他のプロジェクトにおいても、幼小中高合同の防災避難訓練の実施、サイクリングイベント等さまざまな活動を実施しています。

このような活動が県内外の中学生に評価されたことにより、入学者数が増加し分校化が回避され、「佐田岬半島にある三崎高校」として多くのメディアに取り上げられて本校及び伊方町の関係人口の増加につながっています。

同校として、今後は、生徒一人一人と地域住民との関わりをより密にすることで、生徒のキャリア形成と伊方町への移住・定住者数の確保、地域の活性化につなげていきたいと考えています。



三崎高校中庭の「だいだい」と
金賞のマーマレード

インフォメーション

日本の牛乳を救う

「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」実施中

～毎日牛乳をもう（モ～）1杯。

育ち盛りは、もう（モ～）1パック～

一昨年、緊急事態宣言の発出に伴う学校の一斉休校やカフェなどの営業自粛により消費が落ち込んだ際、消費者の皆さまに牛乳をいつもよりもう1杯、もう1本消費いただくことをお願いする「プラスワンプロジェクト」を実施し、多大なる御協力をいただき、処理不可能乳の発生を避けることができました。

昨年の年末年始等は、さらに厳しい状況が予想されることから、「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」を始動しており、農林水産省では、率先して牛乳の消費を拡大すべく、吉本芸人のCOWCOWさんと牛乳乳製品課職員とのコラボや、牛乳を使った和食「乳和食」の推進等と併せて、職員による積極的な牛乳の購入を行っています。

生乳の廃棄といった食品ロスを生じる事態や乳牛を減らすことなく、この難局を乗り切るために、お買い物の際に牛乳やヨーグルトを普段より1本、特に育ち盛りの方は、更にもう1パック多く購入いただければ、酪農家への応援につながります。

ぜひ皆様方の御協力をお願いいたします。

詳しくはこちらをご覧ください。

（農林水産省ホームページ）

http://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/newplusone_project.html



「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」をスタート

食から日本を考える。

NIPPON FOOD SHIFT



農林水産省は、「食料・農業・農村基本計画」に基づき、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を開始しました。

我が国では食の外部化・簡便化が進む一方、食と農との距離が遠くなり、農業や農村に対する国民の意識・関心は薄れています。

食についても新たな生活様式を模索する今、これからの日本の、自分たちの食を確かなものとしていくためには、消費者と生産者が一体となって自分たちの課題と捉え、行動変容に繋げていくことが必要です。

今回の取組は、時代の変化に対応し日本各地の食を支えてきた農林漁業者・食品事業者の努力や創意工夫について消費者の理解を深め、良いところは伸ばし変えるべきことを変え新しいことにもチャレンジする取組を応援する、新しい国民運動です。

詳しくはこちらをご覧ください。

（ニッポンフードシフトホームページ）

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 愛媛県拠点

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177(代) FAX(089)932-1872 <農政局HP>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.maff.go.jp/chushi/>

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>